

## 研究協力のおお願い

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

V ランス作成強膜フラップによる眼内レンズ強膜内固定手術の眼内レンズの術後偏心と傾斜と安定性の評価
<b>1．研究の対象および研究対象期間</b> 2023年9月以降から2024年5月末までの間で昭和大学藤が丘リハビリテーション病院で眼内レンズ強膜内固定手術を行った症例でV ランスでフラップを作成する方法で手術をおこなった患者さん。
<b>2．研究目的・方法</b> 眼内レンズ強膜内固定術において、眼内レンズの支持部を固定する方法として強膜フラップを作成する方法があります。今回はV ランスを用いて強膜フラップを作成する方法での眼内レンズの偏心と傾斜および安定性を調査します。
<b>3．研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年5月31日まで
<b>4．研究に用いる試料・情報の種類</b> 患者背景（年齢、性別、既往歴、手術日、手術内容、角膜径、眼軸長、前房深度） 術後1週間、1か月、3か月、6か月の経過で視力、眼圧、診察における眼内レンズ支持部の露出、前眼部光干渉断層計を用いた眼内レンズの偏心と傾斜
<b>5．外部への試料・情報の提供</b> 該当しません
<b>6．研究組織</b> 研究責任者：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 眼科 堀江 遥夏

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 眼科 氏名：堀江 遥夏

住所： 〒227-8518 神奈川県横浜市青葉区藤が丘2丁目1番1号

電話番号： 045-974-2221（大代表）